

新製品紹介

IQ-1 センターバイス式木口ボール盤 SBB-150 を守谷建具店へ納入 (株)アイキューワン

このほど(有)守谷建具店(埼玉県所沢市三ヶ島 3-783、守谷和夫社長、電話番号 04-2948-2336)が導入した半自動の「センターバイス式木口ボール盤」は、建具職人としての守谷氏が絶賛するダボ穴あけ機である。

製作は各種省力産業機械を製作する(株)アイキューワン(静岡県焼津市中新田 343、渡辺祐介社長、電話番号 054-624-1212)が担当。

同機は、国産材は使った頑丈な木ダボ固定式の木製ドア等を製造する守谷氏の意向を受けて製造した穴あけ機で、加工する部材を上下より同圧力で押さえ材厚芯を簡単に固定することのできるセンターバイス方式を採用し、材の厚み誤差を解消し高精度で安定したボール孔の加工が可能だ。

敢えて全自動にすることなく、建具職人が手作業で自由自在に加工作業が出来るよう、シンプルで精度の高い加工能力を有す。

特に、守谷氏は使い易いように木製治具を工夫して取り付けすることで更に機械の利便性を高めている。詳細は(株)アイキューワンまで。

IQ-1 センターバイス木口ボール盤 SBB-150 の主な仕様

- 主軸 = 2P / 3.7kW
- クランプ = 4P / 0.2kW
- バイス開口範囲 = 10 ~ 80mm
- 機械寸法 = 750 x 1500 x H200mm
- 機械重量 = 300kg
- 多軸アタッチメントは 30mm x 11 軸まで取り付け可能
(3, 5, 7, 9, 11 軸 x 25, 30, 32 ピッチの多軸政策可能)
- 錐芯高さはバイスと独立して微調整可能。

『ウッドミック』2015年3月10日発行 通巻384号、株式会社ウッドミック より一部改変のうえ転載(原文は次ページ以降参照のこと)

木材産業界のコミュニケーション

ウッドミック

2015
3
vol 33

WOOD INDUSTRY & WOODWORKING MACHINERY INFORMATION CENTER

■国産スギCLT建造物の実大振動台実験で高耐震性能が実証される! NO. 384

- ・大断面・CLT加工兼用機「ユニチーム-ウルトラ6軸加工機」1号機を導入/銘建工業(株)
- ・伊製Uniteam社大断面・CLT兼用加工機 ULTRA/ (株)鈴工
- ・IQ-1センターバイス式木口ボール盤SBB-150/ (株)アイキューワン
- ・(株)オロチが自社製構造用ヒノキLVLで第2工場を建設
- ・経産省と林野庁の補助金・税制関係の行政説明会が開催
- ・諸事雑感「あすなる夢い(67)」
- ・本誌企画主催「インターツム2015」&「リグナ2015」視察ツアー募集締め切り間近!!



<http://www.woodmic.com/>



WOODMIC

この写真はイメージです

新製品紹介

IQ-1センターバイス式木口ボール盤 SBB-150を守谷建具店へ納入

(株)アイキューワン

このほど(守)守谷建具店(埼玉県所沢市三ヶ島三ー七八三、守谷和夫社長、☎〇四ー二九四八ー二三三六)が導入した半自動の「センターバイス式木口ボール盤」は、建具職人としての守谷氏が絶賛するダボ穴あけ機である。

製作は各種省力産業機械を製作する(株)アイキューワン(静岡県焼津市新田三三四三、渡辺祐介社長、☎〇五四ー六二四ー二二二二)が担当。

同機は、国産材を使った頑丈な木ダボ固定式の木製ドア等を製造する守谷氏の意向を受けて製造した穴あけ機で、加工する部材を上下より同圧力で押さえ材厚芯を簡単に固定することのできるセンターバイス方式を採用し、材の厚み誤差を解消し高精度で安定したボール孔の加工が可能だ。

敢えて全自動にすることなく、建具職人が手作業で自由自在に加工作業が出来るよう、シンプルで精度の高い加工能力を有す。

特に、守谷氏は使い易いように木製治具を工夫して取り付けることと更に機械の利便性を高めている。詳細は(株)アイキューワンまで。



▲IQ-1 センターバイス式木口ボール盤 SBB-150

■七五〇×一五〇〇×H二〇〇mm
▽機械重量■三〇〇kg▽多軸アタッチメントは三〇mm×一軸まで取り付け可能(3・5・7・9・



▲木口、木端面のボール盤加工

11軸×25・30・32ピッチの多軸政策可能)▽錐芯高さはバイスと独立して微調整可能。

